

# 週間感染症情報

2024年1-2週 2024年1月1日より2024年1月14日まで

1週 2週

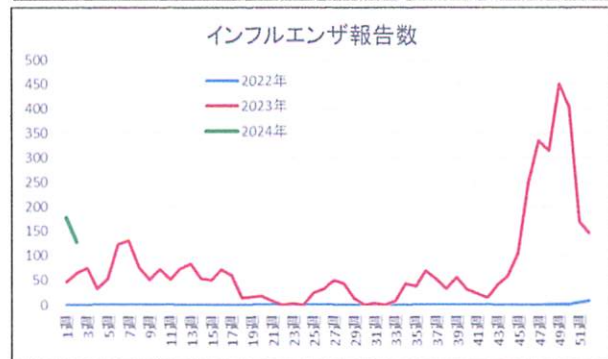
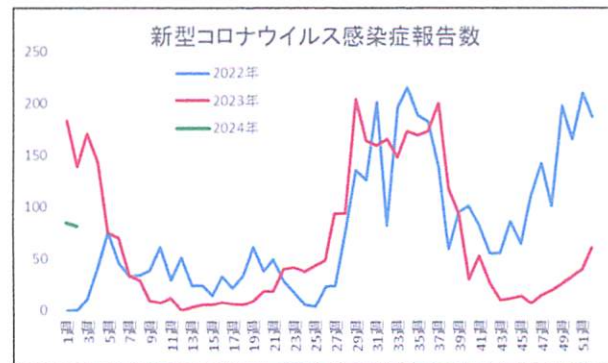
|              |     |     |
|--------------|-----|-----|
| 麻疹           |     |     |
| 風疹           |     |     |
| 水痘(みずぼうそう)   |     |     |
| ムンプス(おたふくかぜ) | 1   | 1   |
| 百日咳          |     |     |
| 溶連菌感染症       | 20  | 19  |
| 手足口病         | 4   | 5   |
| ヘルパンギーナ      |     |     |
| 伝染性紅斑        |     |     |
| 感染性胃腸炎       | 14  | 19  |
| ロタウイルス(再掲)   |     |     |
| 便アデノウイルス(再掲) |     |     |
| 突発性発疹        | 1   | 1   |
| 伝染性膿痂疹(とびひ)  | 4   |     |
| ヘルペス性口内炎     | 1   | 3   |
| アデノウイルス感染症   | 14  | 7   |
| RSウイルス感染症    |     |     |
| マイコプラズマ感染症   |     |     |
| ヒトメタニューモウイルス |     |     |
| インフルエンザ      | 178 | 129 |
| インフルエンザ A    | 114 | 94  |
| インフルエンザ B    | 3   | 10  |
| 新型コロナウイルス感染症 | 85  | 82  |

遅くなりましたが2024年1-2週の2週間の報告です。右下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症が増加しています。2022年から3年間の報告数を折れ線グラフで表しています。症状があっても風邪と思い、受診されない方もあり、感染源不明の小児例をみかけます。新変異株「JN-1」が主流となって、今後感染が拡大すると予想されます。1月21日の当番医の先生の報告によると、54件検査して23例コロナ抗原陽性だったとのことです。

インフルエンザは冬休みの影響もあり減少しています。右下のグラフでお分かりのように2022年(報告数16例)は流行はありませんでした。2023年(報告数4046例)は、年初からA型の報告がみられるようになり、だだららと小学校区ごとに小流行を繰り返しました。2学期になり、高校で行事を契機にA型の流行が始まり、10月後半より市内全域での大きな流行になりました。12月よりA型に2回する例もみうけられ、今年になり、B型の報告が増えています。B型の流行は久しぶりなので大きな流行にしなければいいのですが。

溶連菌感染症の報告は多いです。他の疾患との合併例もあり、口腔内所見はしっかり取る必要があります。

嘔吐を主とするノロウイルス胃腸炎も増えてきました。



医療機関の受診にはマスクの着用をお願いします。

体調不良の場合は休み

手洗い・換気に努めて下さい。

密な環境・公共交通機関では

マスクの着用をぜひお願いします。

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )